

平成 30 年度 第 1 回越前町地域公共交通会議

議 事 録

開催日時：平成 30 年 6 月 19 日(火)

午前 10 時 00 分から午前 11 時 30 分まで

開催場所：越前町生涯学習センター

2 階 会議室 1・2

●出席者

・委員：19名

(欠席者1名 山崎委員)

・事務局：5名 三田村総務理事、佐々木企画財政課長、谷口課長補佐、
小道世主査、西森主事

●議事概要

(1) 会長および副会長の選任について

事務局	本会議の要綱によりますと「会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める」ということになっておりますが、本会議が住民や事業者の意見を吸い上げて、地域の実情に即した輸送サービスの提供について協議すること、また、国、県との協議をしなければならないこと、それに予算措置も伴うことから、今まで通り、会長に内藤町長、副会長に浅沼先生にお願いしたいと思っております。これにご異議ございませんでしょうか。
	異議なしの声
事務局	異議なしの声がございましたので、ご承認いただける場合は拍手でお願いいたします。拍手全員でございますので会長は内藤町長に、副会長に浅沼先生に決定しました。 慣例によりまして、議長は副会長の浅沼委員にお願いいたします。 公務のため会長退席。

(2) 平成29年度コミュニティバスおよび路線バスの状況について

事務局	事務局より説明
浅沼副会長	只今の説明において、ご質問やご意見があればお願いします。
内田委員	デマンドバスはどのようなシステムになっていますか。路線バスはバス停まで行かないと乗れない。コミュニティバスも一緒にバス停まで行かないと乗れない。
事務局	町が採用しているデマンドバスは、時刻表を見てもらってバス停の時間帯で予約をしてもらうと、その時間帯にバスを運行するものになっています。
内田委員	高齢者化してくるとバス停まで行くのが大変になるのではないかと。デマンドバスをテレビで見たことがあるのだが、家の近くまで寄ってくれる、車いすでも乗れるようなミニバスがある。これから免許返納も増えていくのではないかと。自家用車に乗れなくなると交通弱者になりどこへも行けなくなるのではと思う。
事務局	今の町のバスだと家の前まで行けないのが現状です。マイクロバスにしてもUターンする場所があるので、家の近くまで行けないのが現状です。バス停まで歩いて行けない人が多いというご意見も伺っております。バスも12年経過しており、今後は随時更新が必要になるかと思えます。ワゴン車のようなタイプも併用していかないと考えています。今後については、バスの利用者が減ってきているので、新しい方法がないか検討していく必要があると思っております。
浅沼副会長	家の前まで来ないとなかなか乗ってくれないということでしょうか。
内田委員	はい。若い人は家にいないし、家から玄関へ出るのがやっとの人もいるし、あと10年くらいたつと病院、買い物など何もできなくなる。
浅沼副会長	タクシーとのすみ分けの問題が議論になってくる。
吉村委員 (町身障者協会)	コミュニティバスに乗る場合に、持って行った手押し車は車の中に積んでもらえるのか、下のボックスに入れてもらえるのか。どうにか手押し車を押し近隣のバス停まで行けば乗れる可能性があるのではないかと。そのような話しを運転手から聞いたことはないか。
事務局	そのような問題は聞いたことはありませんが、手押し車を乗せられないか、下の荷物置き場に入れられないか、町から運行業者に話しをして、させていただくようにしようと思えます。
吉村委員 (町身障者協会)	委託運行しているのだから、そのような形も取り組まないと。検討してみてください、お願いします。
事務局	手押し車は台数にもよるとは思いますし、高齢者が増えると荷車だらけになってしまうことありえますし、運行上危険がないかどうかもある必要があり。また、手押し車を止める方法も考えなければいけないので、検討させていただくということでお願いいたします。
時田委員	この会議自体は何を目的にやっているのか。意見を聞いて具体的な案を出して進めていくのか、それとも地域住民と学識経験者が来て話を伺ってまたそのうち考えるというものなのか。例えば利用者が減ったのは人口が減ったの

	<p>か、それとも、ということ为先ほど答えてはいたけれども、それはもっと調べたのか。現実には3万人と半分になっているなかでどうするのかを決める会議なのか、それとも役場が決めるからご意見を聞いて提案させていただきますのか。バス停まで遠いなどの話しはでてくるが、今話したところで改善されるのか。車を小さくすると言うがいつできるのか、タクシーの兼ね合いがあるならタクシーをもっと利用すればいい。8千万、9千万もかけて人数は減っていて費用対効果は悪すぎるのもう少し抜本的に考え直すのかという会議なのか。その辺のご意見を聞きたい。新たな話しが何も出てこない中で会議をするなら、もう少し抜本的に考えなければならぬのではと思います。</p>
事務局	<p>この会議は、住民代表や事業者代表や学識経験者が集まり越前町の公共交通をどうしていったらいいのかを考える場として開催しております。越前町に関してはコミュニティバスがある、路線バスも走っている、タクシーもあるという中で、競合しないようにうまくやっとうとしていきます。今までは越前町のコミュニティバスが運行できる状態の中で、できるだけより良い公共交通ということで交通会議を利用しながら話し合っ、交通計画を策定したり、この会議の協議によりメルシやヤマキシ等の商業施設の前にバス停もできております。いろいろ改善しているのですが、このままでは抜本的に変えていかないとコミュニティバスを維持していくのは無理な状況となっており、ここで大幅に見直さなければと考えております。この会議で、いろいろのご意見を言ってもらい施策に反映していきたいと思っております。</p>
浅沼副会長	<p>基本的に国が定めた制度の中で運行していて、これまでは運行事業者と国交省で決めていた路線の認可が、地域住民との中で決めたのであれば短縮して決められる。地域住民と決めたことならば、国はそれほど関与せずに短期間で運行形態を決めて承知しましょうという制度だと思います。この会議も住民レベルで話すと小さなことから大きなことまででてくるが、細かいところから改善していくと利便性は高まっていくと思います。そのような答えでよろしいでしょうか。</p>
時田委員	<p>はい。</p>
武内委員 (福井県タクシー協会理事)	<p>手押し車等は、知る限りでは乗務員が、利用者が乗ったあとに乘せて運んで利用者が降りたら乗務員が降ろしている。あまりにも多い場合は利用者の方に折りたたんで乗っていただいて、降りてから組直しをしてお渡しするとう形で一緒に運んで利用していただいております。もうひとつですが、何年をめどにいろんなことを改定しようとしているかお聞きしたい。</p>
浅沼副会長	<p>後の議題にあるので、後でよろしいでしょうか。他に何かありませんか。</p>
内藤委員	<p>越前地区コミュニティ運営委員会発足からずっと取り組んできた高校生のバス通学の問題について質問をさせていただきます。通学定期券購入の補助で喜んでいる声を聞いて、良い制度ができたと思っておりますが、一番本町の中で人口の多い朝日地区では29年度は前年度よりも延べ人数が半分になり補助額はほぼ変わらない。いろんな要因があるでしょうが利用者の利用</p>

	<p>方面についてやどのようなルートで通学するのか、申請の内容について事務局でまとめているデータはありますか。</p>
事務局)	<p>はい、あります。</p>
内藤委員	<p>朝日地区だと丹生高や鯖江へ自転車で通われる学生もいると思いますが、そのデータもありますか。</p>
事務局	<p>自転車で通われている方のデータはありません。</p>
内藤委員	<p>利用者が半分になっているが補助額が変わっていない、何か要因が考えられるのであれば参考までに教えてください。</p>
事務局	<p>この制度は平成28年度から始まり、通学のルートはいろいろあり、バス・電車併用もできる通学支援制度となっております。28年度におきましては、1年生から3年生までを対象に一月の定期券から購入できるようにしてあります。ルートが決まれば最長の期間の定期を購入してもらうやり方をしています。28年度においては皆さんが初めてということで期間が短い定期券を買える人が多かったというのが一点と、朝日地区に関しましてはそれでも13名ほど減っているの、近くの学校に通う人が増えたと予測しています。実際、延べ人数というのは申請件数で、一人が期間の短い定期を買えば2回申請している形になるので、大幅に減ったのはそのような理由があるからだと考えられます。29年度以降に関しては、2・3年生は年間の定期を買っていただけるように指導しているところです。</p>
浅沼副会長	<p>よろしいでしょうか。他にご意見やご質問はありますか。</p>
伊部委員 (越前町議会 議員)	<p>福鉄の電車とバスが経営的には別々だという組織はわかるのですが、通学の生徒が最終のバスに乗り遅れると親が学校まで迎えに行かなければならない。福鉄のバスの担当者と話しをさせていただいたが、私たちの意見が聞き入れられているかどうか。もう少し福鉄の電車・バスの利便性を考えていただけないかご意見を伺いたいです。</p>
福山委員 (福井県バス 協会理事)	<p>まず、福浦線が田原町をでる時間は最終18時50分で越前町の方に向かうのですが、例えば乗り遅れた場合は電車で行きます。そうすると、神明駅からでる鯖浦線は先にでてしまっています。ですから、福浦線に乗るのが最終になります。バスに乗り遅れた場合、電車に乗っても神明駅までしか生徒は来れない。そこから先、バスで来ようとするとう鯖浦線をもう一本作らなければならない。鯖浦線の利用は悪い状況であります。鯖江市の協議会の中で神明駅止まりをJR北鯖江駅まで伸ばしてくださいとのことで伸ばした結果、キロ数が増えて経費が増えて平均乗車率が格段に落ちた。生活路線バスはルールがありまして、平均乗車率の基準がある。残念ながら、その基準を大幅に下回っているのが現状です。本来なら、国の補助の対象外になってしまう。さらに本数を増やすとなると、もっとひどい状況になってしまう。正直、福浦線、鯖浦線、武生越前海岸線も完全に学生でもっている路線です。越前町の手厚い運賃補助ができたので、保護者の方は買わなきゃ損と言っている。今までその保護者は回数券や片道の定期などの、高い単価の定期を買っていただいていたが、ほとんどの学生はキャンパス定期を利用</p>

	<p>している。キャンパス定期は、再発行をできるようにしたり、利用しやすいように学期の定期券にしたり、今の定期より半分以下の値段でつくった。現金や回数券や片道定期を利用されていた方が越前町の良い通学制度ができたので、安いキャンパス定期を買うようになった。そうすると単価ベースは安くなるので、数字に影響がでています。学生さんでもっている路線なので学生さんに利用してもらえば良いのですが、運行本数を増やすと国の補助から外れてしまうので、現状ではルールが変わらない限りできない。</p>
<p>吉村委員 (町身障者協会)</p>	<p>通う高校生も努力しなければいけない。クラブ時間にあわせて、福鉄と話しをして時間を変更したとたんにクラブ時間が伸びた。学校関係側も努力してもらい、バスに乗る人は時間になったら帰れるようにしないといけない。クラブ活動で少しでも遅れると間に合わないので、保護者が迎えに行くことになる。生徒が何時までに帰りたいと言わないと、バスの時間を延ばしても乗ることは不可能だし、全体で考えなければならない。本人も努力をしなければならない。事務局でも指導をしてほしい。</p>
<p>福山委員 (福井県バス協会理事)</p>	<p>武生東高校は、要望があり最終のバスをかなり遅い時間にした。しかし、学校から、部活動はそんなに遅い時間までしていないと話しがあつた。学校側は門を閉めて消灯してしまうので、暗い中30分も待っているのは危険すぎるのとこのことでバスの時間を戻した。学校との話し合いは大事だと痛感した。今回のダイヤ改正では丹生高校とも話しをさせていただいて、学校の試験が終わったあとに帰るための昼の時間が遅すぎるので、試験終了時間に合わせて時間を1時間くらい早くした。そうすると、どうしても神明駅から乗れない人がでてきたが事情を説明して、そのあとの時間に乘ってくださいと話しをした。限られたお客様を限られた本数に乗せる場合は、どこかに集約しなくてはいけない。朝練ができないからもっと早い時間をつくってほしいや予備校があるからもっと遅い時間をつくってほしいなどの電話があるが、どこまであわせるか。国の基準は大事ですし、ルールの中で逸脱してしまうと路線自体の存続ができなくなってしまう。</p>
<p>浅沼副会長</p>	<p>まだご意見があるかもしれませんが、進めさせていただきます。</p>

(3) コミュニティバス停留所の新設および名称変更について (報告)

事務局	事務局より説明
浅沼副会長	今日承認というわけではないですね。
事務局	軽微な変更ということで、運輸支局へは提出しており報告のみです。
浅沼副会長	すでに停留所の新設および名称変更は昨年からされているということで、特にご質問とありますか。
畑委員 (福井運輸支局)	これに関しましては、1年前に変更しますとご提案をいただいています。

4) その他

浅沼副会長	その他について、福井鉄道路線バスダイヤ改正についてお願いします。
福山委員 (福井県バス協会 理事)	福井鉄道より説明
浅沼副会長	特にご質問はございませんか、よろしいでしょうか。それでは、その他でコミュニティバスの運行形態の検討についてです。
事務局	事務局より説明
浅沼副会長	アンケートや懇談会の予定はいつ頃でしょうか。本年度のスケジュールは。
事務局	7月にはいりますとアンケート調査や地元調査にはいる委託業者を決定し、それからアンケート内容の検討がありますので、秋口以降になるかと思えます。その頃からアンケート調査と地元の懇談会になりますので、集計というとそれがまとまるのが一月かかると思えます。10月以降にこの会議を招集できればと思っております。
浅沼副会長	これから運行形態を検討するというので、ご意見やご提案したいことがあればお願いします。何かございませんでしょうか。
畑委員 (福井運輸支局)	<p>実績を見て、去年は14%、今年はさらに13%、この落ち込み方は正直、県内でも異常です。その前までは5%前後ですので、人口減少やなかなか利用が進まないですねということですね。昨年14%というのは、よくお乗りになった方が例えば入院したとか使えない事情が発生してお使いにならなかったという理由ですね。さらに今年も同じように13%落ちている、この傾向は非常に危ない状況、危機感をもつべきだと思います。この状況でコミュニティバスを運行しようとしても、乗らない状態が続くと思います。人口減少などいろんな要素を加味しても、ありえない数字ですので、運行形態を見直そうというのは大事だと思います。</p> <p>第三次交通計画があるので、町としては既にこういう計画があつてなかなか進まないという状況を、会議で皆さんにお示しいただいて、計画の見直しを全面的にしましょうとか、何が悪かったのか、本来その計画にはもっと利用促進するにはどうしたらいいか、維持すべきにはというのが書いてある。</p> <p>あと、コミュニティバスや路線バスに乗って現状を見ていただきたい。実際に使いやすい、使い勝手が良いのか、乗ったことがないのに議論はしにくいのかなと思う。近所の人のご意見を聞いてこの場で話すのも良いが、乗ってみて具体的にバス停の場所が悪いとか、バス停の場所が遠いからなかなか利用できないとか、ご利用いただいてからご発言いただければ議論ができるかなと。バスに乗ってない状況が目に見えてわかると、どうしたら乗ってもらえるのか、こういった話しをもっとしやすくなると思いますので、皆さんにはご協力いただきたい。事務局には計画が既にあるので、皆さんにご提示いただいてもう一回検討する。そこを踏まえて、今回のご提案みたいに調査をして、使いやすいのはどういうものなのか、のちほど調査していただく。アンケート調査は非常に難しく、住民からは要望はどんどんでてきます。</p>

	<p>それを聞きいれてばかりですと、乗らない形のもので出来上がる。設問に関しても吟味していただかないと、要望ばかり聞くようなアンケートだと意味がない。アンケートだけでなく乗務員からの話しなどいろいろな情報収集をしていただければと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。</p> <p>町のやろうとしている計画は、場合によっては交通計画を全面リニューアルして新しいものを、そこには福鉄の路線バスも今のままでいいのか、場合によっては再編をということになりますけども、減便を想定するのではなくて時刻表を見てもらえばわかるとおり、2時間を超えるバス路線をもっているところは非常に稀です。逆に言うとドライバーをそこまで拘束して、往復ですから4時間拘束するというのはバス会社にとって大変な要素です。例えば織田バスターミナルで乗り換えすることにご協力をお考えいただければ、従来どおりの路線が維持される、便数を増やすことも出来るかもしれない。</p>
浅沼副会長	<p>たくさんご意見、ご提案がされましたので、今後、運行形態の検討にはいるということで、ご意見を踏まえてまとめながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>